

新潟県立中央病院 倫理委員会オプトアウト書式

①研究課題名	当院の待機的心臓血管外科術後患者における手術前後の身体機能の比較と、術前の低身体機能がリハビリテーション進行に及ぼす影響
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象者及び対象期間：2021年3月～2022年11月の期間に当院で待機的心臓血管外科手術を受けた患者 研究責任者：新潟県立中央病院 リハビリテーション科 理学療法士 藤巻涼司	
③概要	
当院の待機的心臓血管外科術後患者において術前と退院前の身体機能の比較と、術前より低身体機能の患者は、身体機能が維持されている患者と比較してリハビリテーションプログラムの進行に影響を及ぼすか検討することを目的として、過去の診療録から後方視的に調査する。	
④申請番号	第2229号
⑤研究の目的・意義	術後リハビリプログラムを完遂した症例において、術前より身体機能が軽度低下したまま退院する症例が存在すると感じている。また、術前より低身体機能、すなわちフレイルを呈しているような症例については、リハビリの進行が遅延する症例が多い印象がある。以上のことから術前と退院前の身体機能を比較することで、入院中のリハビリが効果的に行われているか検証するとともに、術前より低身体機能を呈する症例においてリハビリプログラムの妥当性を検討することを目的とする。
⑥研究期間	2022年12月9日（倫理審査委員会承認日）～ 2023年12月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む）	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報 は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。個人情報から個人を識別することができる情報の全部又は一部を取り除き、代わりにその人と関わりのない符号又は番号を付して匿名化をしデータを管理します。
⑧利用または提供する情報の項目	対象患者において、以下の項目を診療録から調査する。 1.基本情報：年齢、性別、体重、BMI、Barthel Index、NYHA分類、フレイル評価(改定日本版CHS基準) 2.手術情報：術式、手術所見（手術時間、体外循環時間、大動脈遮断時間、出血量） 3.呼吸機能：%肺活量（%VC）、一秒率（FEV1.0%） 4.心機能：左室駆出率（LVEF）、左室拡張機能（E/e'） 5.生化学検査：アルブミン、尿素窒素、クレアチニン、推定糸球体濾過量、ヘモグロビン 6.術後経過：リハビリ進行（端座位・立位足踏み・室内歩行・50m歩行・リハビリテーション室によるリハビリまでの日数）、ICU退室までの日数、酸素療法終了までの日数、術前体重に戻るまでの日数、術後在院日数、食事摂取量 6.術後イベント発生：術後心房細動発生の有無 7.身体機能：握力、膝伸展筋力、上腕周囲長、下腿周囲長、Short Physical Performance Battery、6分間歩行試験

⑨利用の範囲	研究成果を関連学会で発表し，学術誌に掲載する.
⑩資料・情報の管理について責任を有する者	新潟県立中央病院 リハビリテーション科 理学療法士 藤巻涼司
⑪お問い合わせ先	研究責任者指名：藤巻涼司 研究機関：新潟県立中央病院 部署：リハビリテーション科 連絡先住所：新潟県上越市新南町205 電話番号：025-522-7711